

石から木が生えてきました



池田町シマの新居孝治さんから、庭の石からもちの木が生えているとの連絡をいただきました。新居さんによると、「34年前に家の新築のため庭石を運んできたが、平成19年に石の間から芽が出て以来、昨年から急に大きくなった。家の庭には30年前に植えたもちの木があるが、こんなところから生えてきて不思議」と話してくれました。庭石は約1m四方で木の高さは約80cm。石を押し分け育っている姿を見ると神秘的な生命力を感じさせてくれました。

初夏を実感 マルシェを満喫



プチうだつマルシェは、のんびりした時間を池田の町で過ごしてもらおうと毎月第1土曜日に行われています。第2回目となる6月7日には、「初夏はやっぱり、おそうめん」をテーマに行われました。浴衣姿のスタッフがお出迎えをして、風情ある会場では、干し海老つゆやキーマカレーなどさまざまなアレンジされたそうめんが提供されました。その他にもかばんなどの民芸品や盆栽のお店なども出店し、来場者の方々は少し早い夏を感じることができました。

野鹿池で満開のシャクナゲ



山城町上名の野鹿池神社では、毎年シャクナゲ祭りが開催されています。標高1294mに位置する野鹿池山にある野鹿池神社は、古くから雨乞いの神様として信仰されています。また、参道は湿地帯のため、生息しているオオミズゴケを守るために遊歩道が設けられています。6月1日は、原生林のシャクナゲがちょうど見頃を迎えており、参拝者の方々は美しい花々に、写真を撮ったり、観察したりと思いの時間の時間を過ごしていました。

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



親子で楽しむ米作り体験がスタート

西山地区の魅力を地域内外に知ってもらおうと、地域住民で結成された「西山をもっと元気にする会」による、おやこde米作り体験inにしやまが6月8日に開催され、64人の親子が参加し田植えに挑戦しました。参加者は会員らから指導を受けながら約200㎡の田んぼにもち米の苗を植えていきました。また、田んぼの周りの遊歩道では宝探しゲームもあり、参加者は西山から眺める池田町の風景を楽しみながら一日を満喫しました。この体験イベントでは、稲刈りや餅つき、しめ縄作りなど年間7回のプログラムが予定されています。

黒川谷でホタルまつり開催



山城町のホタルの里公園で、第44回黒川谷ホタルまつりが6月21日に行われました。この日はあいにくの雨のため、幻想的なホタルの舞は見れませんが、子どもたちにホタルのことを知ってもらい、生息できる自然を大切に守ってほしいと、〇×クイズが行われました。参加者は楽しみながらホタルについて学ぶことができました。また、その他にもじゃんけん大会、うどんなどの各種バザー、豪華景品が当たる抽選会が行われ、多くの子どもたちや親子連れで賑わいました。

三好市の魅力を全国へ発送



三好市の春の味覚をお届けするふるさと小包の発送作業が、6月17日に市役所分庁舎で行われました。今回より新たに五目豆、手焼きせんべい、たまごかけしょうゆの商品が追加され、新茶、味付ぎぜんまい、そば米雑炊、みそなど特産品10品目を丁寧に箱詰めし、全国各地の愛好者や三好市出身者の方々に255個の小包が発送されました。同会では、秋にもふるさと小包の発送を予定しています。お問い合わせ先は、三好やまびこふるさと会事務局(☎72-7645)まで。

井内小学校が自衛隊と交流



ドクターヘリの離着陸や災害対策として井内地区にヘリポートを整備している陸上自衛隊徳島駐屯地第14施設隊と井内幼・小学校児童との交流会が6月13日、井内小学校で開催されました。対面式の後は、普段自衛隊員が作っているカレーと一緒に食べながら親睦を深めました。その後児童らは自衛隊の車両に試乗してヘリポート建設現場に向かい、自衛隊の役割やヘリポートの重要性などを学びました。

市民大学開校 笑いの中にも人権問題を考える

三好市民大学講座が6月7日に三好市中央公民館で開催されました。「人生いろいろ～元気で楽しくいきましょう～」をテーマに全9回行われます。初回の講師は、落語家の露の新治さん。「新ちゃんのお笑い人権高座～笑顔でくらす、願いを生きる～」と題して、「差別は不当な分けへだて、世の中から差別をなくすよう自己変革してほしい」と約200名の受講生に笑いを交えながら訴えかけました。講座の後半では、落語も披露され、笑いの絶えない講座となりました。



自慢の逸品のアピール法を学ぶ

にし阿波地域で特産品を生産している方などを対象に6月6日、「バイヤーに響き伝わるPRシート作成の7つのポイント」と題し、東みよし町商工会の塩田計英さんを講師に迎え、販売力アップセミナーが池田総合体育館で開催されました。参加者は商品に込めた思いやその背景を効率的に仕入れ担当者に伝える商談用統一シートの作成ポイントを学びました。6月24日に開催されたにし阿波マッチング商談会で、生産業者は早速シートを活用して販売業者などに商品を売り込みました。